

三管区水路通報第 4 7 号

平成 1 3 年 1 2 月 5 日

第三管区海上保安本部

| | | | |
|-------------|---------------------------|-------------------------|----------|
| 第 1 1 4 4 項 | 本州東岸 | 大津岬北北西方 | 水路測量 |
| 第 1 1 4 5 項 | 本州南岸 | 三崎港 | 灯浮標交換作業 |
| 第 1 1 4 6 項 | 本州南岸 | 下田港及び付近 | 魚礁存在 |
| 第 1 1 4 7 項 | 本州南岸 | 石廊崎南方 | 射撃訓練 |
| 第 1 1 4 8 項 | 東京湾 | 千葉港、千葉区第 4 区 | 防災訓練 |
| 第 1 1 4 9 項 | 東京湾 | 横須賀港、第 1 区、第 2 区及び第 3 区 | 灯浮標等交換作業 |
| 第 1 1 5 0 項 | 東京湾 | 横須賀港、第 4 区 | 大型浮体設置 |
| 第 1 1 5 1 項 | 東京湾 | 横須賀港、第 4 区及び付近 | 潜水作業 |
| 第 1 1 5 2 項 | 京浜港 | 東京区第 2 区 | ボーリング調査 |
| 第 1 1 5 3 項 | 京浜港 | 東京区第 3 区及び川崎区第 1 区 | 水路測量 |
| 第 1 1 5 4 項 | 京浜港 | 東京区第 3 区 | 展示訓練 |
| 第 1 1 5 5 項 | | | 海図廃版 |
| おしらせ | 世界測地系への移行及び日本測地系海図の廃版について | | |

水路通報インターネットアドレス

<http://www.jhd.go.jp/cue/KAN3/tuho/index.html> (三管区水路通報を冊子形式で提供します)

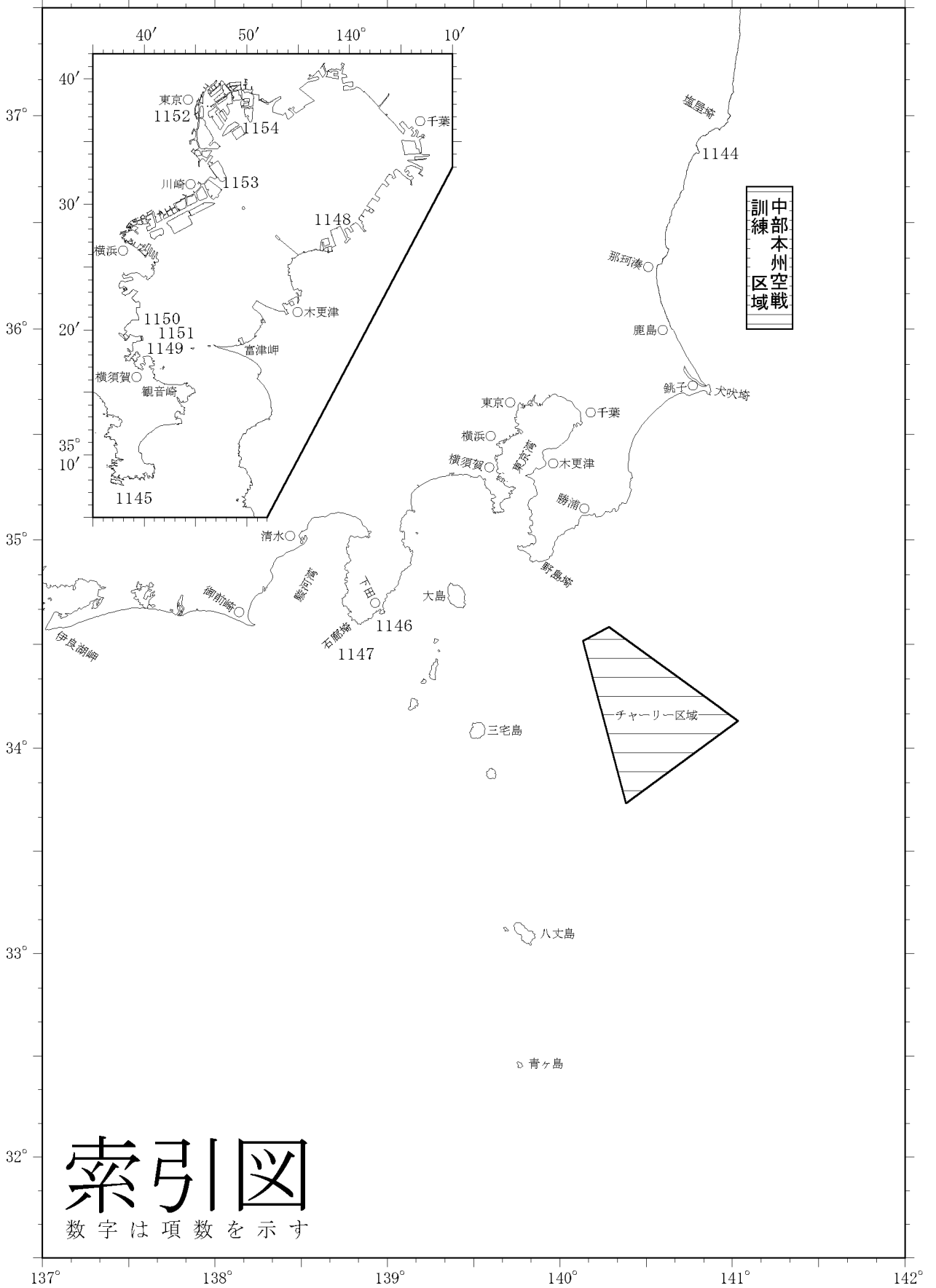
<http://www.jhd.go.jp/cue/TUHO/nwj.html> (全国の水路通報情報を提供します)

三管区水路通報及び水路図誌に関する問い合わせ先

第三管区海上保安本部水路部監理課図誌係

〒231-8818 横浜市中区北仲通 5-57 T E L 045-211-0771(内線 314) F A X 045-212-1597

横浜第二合同庁舎 20 階 E-Mail zushi@kan3.cue.jhd.go.jp



13年1144項 本州東岸 - 大津岬北北西方 水路測量
作業船により水深測量が実施される。
期 間 平成13年12月17日～平成14年1月20日 日出～日没
[日本測地系] [世界測地系 WGS-84]
区 域 36-50.6N 140-48.1E 付近 36-50.8N 140-47.9E 付近
備 考 作業船には、「白紅白」の燕尾旗が掲揚される。
海 図 68
出 所 三本部水路部

13年1145項 本州南岸 - 三崎港 灯浮標交換作業
作業船により灯浮標の交換作業が実施される。
期 間 平成13年12月6日(予備日7日～12日) 日出～日没
[日本測地系] [世界測地系 WGS-84]
(1)標識名 三崎港東口第1号灯浮標
位 置 35-07.8N 139-38.1E 概位 35-08.0N 139-37.9E 概位
(2)標識名 三崎港東口第2号灯浮標
位 置 35-07.9N 139-38.0E 概位 35-08.1N 139-37.8E 概位
(3)標識名 相模網代埼沖灯浮標
位 置 35-10.0N 139-36.0E 概位 35-10.2N 139-35.8E 概位
海 図 W1068
出 所 横須賀海上保安部

13年1146項 本州南岸 - 下田港及び付近 魚礁存在
爪木埼北方から石廊崎の間において、魚礁が存在する。
位 置 下記11地点
[日本測地系] [世界測地系 WGS-84]
(1) 34-42-11N 138-59-05E 34-42-23N 138-58-54E
(2) 34-41-10N 138-58-48E 34-41-22N 138-58-37E
(3) 34-39-57N 138-59-08E 34-40-09N 138-58-57E
(4) 34-39-03N 138-55-52E 34-39-15N 138-55-41E
(5) 34-38-31N 138-55-26E 34-38-43N 138-55-15E
(6) 34-38-15N 138-55-14E 34-38-27N 138-55-03E
(7) 34-37-26N 138-53-47E 34-37-38N 138-53-36E
(8) 34-37-08N 138-53-06E 34-37-20N 138-52-55E
(9) 34-36-36N 138-51-57E 34-36-48N 138-51-46E
(10) 34-36-10N 138-51-11E 34-36-22N 138-51-00E
(11) 34-37-40.6N 138-53-58.4E 34-37-52.6N 138-53-47.2E
区 域 下記4地点により囲まれる区域
(12) 34-39-41.2N 138-56-42.2E 34-39-53.2N 138-56-30.9E
(13) 34-39-37.6N 138-56-38.0E 34-39-49.6N 138-56-26.7E
(14) 34-39-40.6N 138-56-34.0E 34-39-52.6N 138-56-22.7E
(15) 34-39-44.2N 138-56-38.2E 34-39-56.2N 138-56-26.9E
海 図 W96 - W96 (下田港) - W96 (手石港)
出 所 静岡県

13年1147項 本州南岸 - 石廊崎南方 射撃訓練

巡視船1隻により、射撃訓練が実施される。

期 間 平成13年12月8日 1400~1700

区 域 下記位置を中心とする半径5海里の円内

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

34-21N 138-50E

34-21N 138-50E

備 考 訓練実施中、巡視船には国際信号旗「UY」及び「NE4」が掲揚される。

海 図 W61B

出 所 三本部警備救難部

13年1148項 東京湾 - 千葉港、千葉区第4区 防災訓練

東京ガス袖ヶ浦工場第2 棧橋3号 LNG バース及び前面海域において、着岸中の LNG 船及び作業船等5隻によりオイルフェンス展張訓練等が実施される。

期 間 平成13年12月12日 1430~1600

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

区 域 35-28.1N 139-58.2E 付近

35-28.3N 139-58.0E 付近

海 図 W1087

出 所 千葉港長

13年1149項 東京湾 - 横須賀港、第1区、第2区及び第3区 灯浮標等交換作業

潜水土及び作業船により浮標・灯浮標の交換作業が実施されている。

期 間 平成13年12月5日まで(予備日6日~8日) 日出~日没

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1)標識名 横須賀港佐久根上端浮標

位 置 35-17.9N 139-41.0E 概位

35-18.1N 139-40.8E 概位

(2)標識名 横須賀港第7号灯浮標

位 置 35-17.9N 139-39.9E 概位

35-18.1N 139-39.7E 概位

(3)標識名 横須賀港第8号灯浮標

位 置 35-17.9N 139-39.7E 概位

35-18.1N 139-39.5E 概位

(4)標識名 横須賀港大地ノ鼻灯浮標

位 置 35-18.1N 139-39.0E 概位

35-18.3N 139-38.8E 概位

海 図 W1083

出 所 横須賀港長

13年1150項 東京湾 - 横須賀港、第4区 大型浮体設置

住友重機械工業(株)追浜造船所北側に、大型浮体が実験のために設置されている。

期 間 平成14年3月31日まで

区 域 下記4地点により囲まれる区域

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1) 35-19-28.6N 139-39-20.8E 35-19-40.4N 139-39-09.2E

(2) 35-19-31.8N 139-39-20.6E 35-19-43.6N 139-39-09.0E

(3) 35-19-32.3N 139-39-28.4E 35-19-44.1N 139-39-16.8E

(4) 35-19-29.1N 139-39-28.6E 35-19-40.9N 139-39-17.0E

備 考 上記各地点に、レーダー反射板及び点滅式(モールス符号、8秒にU)白色灯が設置されている。

海 図 W1083
出 所 横須賀港長

13年1151項 東京湾 - 横須賀港、第4区及び付近 潜水作業
浦賀水道航路第五号灯浮標西方において、潜水士及び作業船により、水中ロボット及び底引網を使用して
流失機器の搜索回収作業が実施される。

期 間 平成13年12月10日～16日（予備日17日～21日） 日出～日没
区 域 下記5地点により囲まれる区域

| | [日本測地系] | [世界測地系 WGS-84] |
|-----|----------------------|----------------------|
| (1) | 35-18-38N 139-41-22E | 35-18-50N 139-41-10E |
| (2) | 35-20-03N 139-41-22E | 35-20-15N 139-41-10E |
| (3) | 35-20-03N 139-41-51E | 35-20-15N 139-41-39E |
| (4) | 35-19-28N 139-42-11E | 35-19-40N 139-41-59E |
| (5) | 35-18-38N 139-42-11E | 35-18-50N 139-41-59E |

海 図 W1083
出 所 横須賀港長

13年1152項 京浜港 - 東京区第2区 ボーリング調査
東雲運河口及び付近において、ボーリング櫓を順次移設し土質調査が実施されている。

期 間 平成13年12月22日まで 日出～日没
位 置 下記3地点付近

| | [日本測地系] | [世界測地系 WGS-84] |
|-----|----------------------|----------------------|
| (1) | 35-38-01N 139-46-47E | 35-38-13N 139-46-35E |
| (2) | 35-38-12N 139-46-50E | 35-38-24N 139-46-38E |
| (3) | 35-38-05N 139-46-58E | 35-38-17N 139-46-46E |

備 考 ボーリング櫓の四隅に、赤旗及び点滅式（4秒1閃）黄色灯が設置されている。

海 図 W1065
出 所 京浜港長

13年1153項 京浜港 - 東京区第3区及び川崎区第1区 水路測量
多摩川河口の大師橋から浮島北東側の間において、作業船により水深測量が実施される。

期 間 平成13年12月20日～平成14年1月31日 日出～日没
区 域 下記2地点間の多摩川河口部

| | [日本測地系] | [世界測地系 WGS-84] |
|-----|-----------------------|----------------------------|
| (1) | 35-32.4N 139-44.7E 概位 | 35-32.6N 139-44.5E 概位（大師橋） |
| (2) | 35-31.3N 139-47.7E 概位 | 35-31.5N 139-47.5E 概位 |

備 考 作業船には、「白紅白」の燕尾旗が掲揚される。

海 図 W67 - W1065 - W1061
出 所 三本部水路部

13年1154項 京浜港 - 東京区第3区 展示訓練

建材ふ頭前面海域において、消防艇6隻により放水訓練(出初式)が実施される。

期 間 平成13年12月11日、14日、17日及び平成14年1月4日 0900~1200(事前訓練)
平成13年12月19日(予備日21日) 0830~1200(予行日)
平成14年1月6日 0830~1200(出初式)

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

区 域 35-37.8N 139-48.5E 付近 35-38.0N 139-48.3E 付近

海 図 W1065

出 所 京浜港長

13年1155項 海図廃版

下記海図は、平成13年11月30日をもって廃版された。

| 番 号 | 図 名 | 刊行年月 |
|------|---------|----------|
| 51 | 伊豆諸島 | 1999年6月 |
| 1066 | 大島 | 1992年12月 |
| 1069 | 伊豆大島諸分図 | 1995年12月 |
| 1071 | 八丈島諸分図 | 1984年2月 |
| 1075 | 駿河湾 | 1983年5月 |
| 1078 | 相模灘 | 1988年1月 |

出 所 海上保安庁水路通報13年48号(13.11.30)

世界測地系への移行及び日本測地系海図の廃版について

1 平成14年3月までは・・・

- ・我が国の海図のうち、日本及びその周辺海域の海図については、従来は日本測地系で刊行されていましたが、平成12年4月からは世界測地系で刊行しており、平成14年3月末までに、全て世界測地系海図へ移行されます。
- ・日本測地系によるものと世界測地系による海図が混在しますので、使用に際しては海図に使われている測地系とGPS等の測位システムの測地系を一致させるなど十分注意されるようお願いいたします。
- ・従来の日本測地系海図は、平成13年10月から段階的に廃版され、平成14年3月末までに全て廃版となります。
- ・水路通報及び航行警報の位置表示は、日本及びその周辺海域については原則として日本測地系と世界測地系を併記することとしています。ただし、入手情報のうち測地系が明らかでない場合、また緊急に知らせる必要がある漂流物等については、「測地系不明」として提供する場合があります。

2 平成14年4月以降は・・・

- ・緯度・経度は世界測地系に統一され、日本測地系海図は、全て使えなくなります。
- ・水路通報・航行警報の位置表示は、世界測地系のみになります。

このため、

下図の日本測地系海図の廃版予定及び「水路図誌目録」(平成13年7月刊行、同14年3月改版予定)を参照のうえ、早期に世界測地系海図の使用に移行されるようお願いいたします。

世界測地系海図の刊行及び日本測地系海図の廃版の詳細については、別途毎週の水路通報(全国の海図及び三管区水路通報(三管区内の海図))などでお知らせすることとしています。

日本測地系海図の廃版予定

廃版済海域(■部分)

東京湾 伊勢湾及び付近
大阪湾及び紀伊水道
瀬戸内海 本州南岸
四国南岸

廃版予定海域・時期

九州沿岸 本州北西岸
(平成13年11月~14年3月)
北海道沿岸
(平成13年12月~14年3月)
本州東岸
(平成14年1月~2月)
南方諸島・南西諸島
(平成14年1月~3月)

(注) 以上の他、番号5000台の海図及び一部の海図の中には廃版されていないものもありますので、詳細は水路図誌目録を参照して下さい。

